

夏の見通しを立てよう

茗溪塾塾長 長谷誠基

じめじめとした天気が続いています。今年は梅雨が短く夏は暑い予想となっているようです。体調管理にはお気をつけ頂きたいと思います。

さて、6月23日(日)には小6対象の合同特訓が行われました。四谷大塚コースは国語中心で、入試問題の形式別の特訓や四字熟語で競い合いました。特訓中、国語実戦をスタートしました。国語実戦は今後入試まで使用するもので、国語力を上げるための教材です。実際の入試問題を使用し、解いてもらった答案を先生が採点し、再度やり直させます。直すたびに文章を読み直すことになり、内容を読み取る力をつけ、解き方のコツをつかみます。また、実際の入試でも国語実戦で解いた問題と同じ文章が出たということも何度もあり、入試で有利に働くこともあります。全部で5冊。100題ありますのでペースを決めて進めてほしいと思います。すでに3冊目に入ったという声も聞こえてきています。頑張って取り組みましょう。

また、公立一貫校受検コースは入試問題にチャレンジし、割合の特訓、資料読み取り100選のスタートという内容で行いました。資料読み取り100選は適性検査で必ず出題される、グラフや表を読み取って解く問題で、必ず得点源にしなければいけない問題です。特訓でも注意しましたが、条件をしっかりと読んで、必要なことを客観的に記述する必要があります。今年は教材もリニューアルし選択問題や計算の問題なども取り入れてあります。より入試に近い形で練習できるものとなっていますので、これもコツコツ進めてほしいと思います。

7月に入り夏休みが近づいてきました。受験生にとっては勝負の夏。他の学年にとっても重要な時期になります。だからこそ、この夏に何をするかを事前に計画しておきましょう。受験学年であればこれまで学習した内容を総復習しながら、入試レベルに近づけた問題演習を行うのが夏期講習の内容です。それ以外に自分でも「苦手な関数を克服しよう!」とか「英語の長文を1日1題解く。」など自分の克服課題に合わせて設定すると良いでしょう。他の学年も今まで習った内容の中でできなかったところをできるようにするチャンスです。普段はなかなか時間がなくてできないことを計画的に進めるようにしましょう。中学生は9月に定期試験がある場合もあります。中3生が引退し部活も忙しくしていると、気が付いたら試験の1週間前だった。なんてことにならないようにしてほしいと思います。

時間があるについ、まだまだ大丈夫と思いがちですが、そんなときこそ計画的に行動することが大切です。より良い夏にするために、夏の見通しを立てましょう。